



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 株式会社モリタホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6455 URL http://www.morita119.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾形 和美  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 金岡 真一 (TEL) 06-6208-1915  
 管理サービス本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	50,257	△4.8	3,727	△28.7	4,182	△24.6	2,578	△28.8
29年3月期第3四半期	52,817	24.6	5,227	15.4	5,548	11.3	3,620	34.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,333百万円( 48.6%) 29年3月期第3四半期 2,915百万円( 17.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	56.99	—
29年3月期第3四半期	80.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	113,812	59,738	51.7
29年3月期	106,037	56,722	52.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 58,857百万円 29年3月期 55,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.00	—	17.00	29.00
30年3月期	—	12.00	—		
30年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	△2.4	8,700	△9.8	9,000	△11.1	5,400	△10.6	119.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	46,918,542株	29年3月期	46,918,542株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,681,107株	29年3月期	1,679,767株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	45,238,116株	29年3月期3Q	45,240,140株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策により、企業収益や雇用環境が改善するなど緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の政権・政策運営の不透明感や北朝鮮を巡る国際的な緊張の高まり等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは3ヵ年の中期経営計画「Morita Advance Plan 1000」の2年目として、企業価値の向上に向けた諸施策に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は50,257百万円（前年同四半期比2,559百万円減、4.8%減）、営業利益は3,727百万円（前年同四半期比1,499百万円減、28.7%減）、経常利益は4,182百万円（前年同四半期比1,365百万円減、24.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,578百万円（前年同四半期比1,042百万円減、28.8%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①消防車輛

消防車輛事業は、国内マーケットシェアは高水準を維持しているものの、前期に国内需要が増加した反動により、売上高は28,637百万円(前年同四半期比5.8%減)となりました。

#### ②防災

防災事業は、パッケージ型自動消火設備「スプリネックス」の工事の完成が第4四半期に集中するため、売上高は12,020百万円(前年同四半期比1.3%減)となりました。

#### ③産業機械

産業機械事業は、製品受注が減少した中で、部品販売及びメンテナンスに注力しましたが、売上高は2,438百万円(前年同四半期比16.9%減)となりました。

#### ④環境車輛

環境車輛事業は、特装車及び衛生車の販売が減少し、売上高は7,161百万円(前年同四半期比1.8%減)となりました。

当社グループの売上高及び利益は、消防車輛事業の官公庁向け売上高の占める割合が高いこと等から、第4四半期に集中する傾向にあります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (財政状態の分析)

当第3四半期連結会計期間の総資産は113,812百万円（前連結会計年度末比7,775百万円の増加）となりました。

流動資産は、58,052百万円となり6,400百万円増加しました。これは主に、たな卸資産の増加10,414百万円の方で、受取手形及び売掛金の減少4,503百万円によるものです。

固定資産は、55,760百万円となり1,374百万円増加しました。うち有形固定資産は、35,317百万円となり297百万円増加し、無形固定資産は、5,276百万円となり124百万円減少し、投資その他の資産は、15,166百万円となり1,201百万円増加しました。

流動負債は、34,476百万円となり4,820百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加2,175百万円、電子記録債務の増加1,584百万円、短期借入金の増加2,952百万円の方で、未払法人税等の減少1,938百万円によるものです。

固定負債は、19,598百万円となり61百万円減少しました。

純資産は、59,738百万円となり3,016百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2,578百万円、その他有価証券評価差額金の増加796百万円、為替換算調整勘定の増加769百万円の方で、剰余金の配当1,311百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の52.7%から51.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ704百万円減少の7,181百万円となりました。なお、当四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、45百万円の収入（前年同四半期は496百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4,160百万円の計上、売上債権の減少額6,068百万円、仕入債務の増加額3,605百万円の方で、たな卸資産の増加額10,146百万円、法人税等の支払額3,448百万円によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,958百万円の支出（前年同四半期は4,108百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,840百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,202百万円の収入（前年同四半期は4,041百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額2,935百万円の方で、配当金の支払額1,294百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね当初予定通りに推移しており、通期の業績につきましても、現時点では、平成29年4月28日に公表いたしました業績予想と変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,946	7,211
受取手形及び売掛金	26,288	21,785
電子記録債権	407	656
商品及び製品	3,949	4,347
仕掛品	5,187	12,862
原材料及び貯蔵品	4,841	7,183
その他	3,088	4,073
貸倒引当金	△57	△68
流動資産合計	51,651	58,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,190	11,820
機械装置及び運搬具(純額)	2,939	3,418
土地	18,954	19,656
建設仮勘定	536	58
その他(純額)	398	362
有形固定資産合計	35,019	35,317
無形固定資産		
のれん	3,871	3,828
その他	1,529	1,448
無形固定資産合計	5,401	5,276
投資その他の資産		
投資有価証券	10,612	11,756
退職給付に係る資産	1,010	1,004
その他	2,896	2,959
貸倒引当金	△554	△553
投資その他の資産合計	13,965	15,166
固定資産合計	54,385	55,760
資産合計	106,037	113,812

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,622	11,797
電子記録債務	7,554	9,139
短期借入金	185	3,137
1年内返済予定の長期借入金	2,342	2,442
未払法人税等	2,504	566
賞与引当金	1,152	587
役員賞与引当金	155	103
製品保証引当金	842	763
その他	5,296	5,937
流動負債合計	29,655	34,476
固定負債		
長期借入金	11,207	10,679
退職給付に係る負債	3,897	3,867
役員退職慰労引当金	115	138
その他	4,439	4,912
固定負債合計	19,659	19,598
負債合計	49,315	54,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,746	4,746
資本剰余金	4,331	4,331
利益剰余金	48,220	49,487
自己株式	△1,496	△1,499
株主資本合計	55,801	57,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,747	4,544
繰延ヘッジ損益	△0	15
土地再評価差額金	△2,604	△2,604
為替換算調整勘定	△445	324
退職給付に係る調整累計額	△581	△486
その他の包括利益累計額合計	116	1,792
非支配株主持分	804	880
純資産合計	56,722	59,738
負債純資産合計	106,037	113,812

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	52,817	50,257
売上原価	37,880	36,934
売上総利益	14,936	13,323
販売費及び一般管理費	9,708	9,595
営業利益	5,227	3,727
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	115	128
受取賃貸料	62	63
持分法による投資利益	95	166
その他	192	200
営業外収益合計	469	563
営業外費用		
支払利息	62	60
賃貸費用	7	7
その他	79	39
営業外費用合計	148	107
経常利益	5,548	4,182
特別利益		
固定資産売却益	1	3
特別利益合計	1	3
特別損失		
固定資産除売却損	2	25
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	3	25
税金等調整前四半期純利益	5,547	4,160
法人税等	1,861	1,511
四半期純利益	3,685	2,649
非支配株主に帰属する四半期純利益	64	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,620	2,578



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	3,685	2,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	849	804
繰延ヘッジ損益	15	15
為替換算調整勘定	△1,351	758
退職給付に係る調整額	△119	94
持分法適用会社に対する持分相当額	△163	11
その他の包括利益合計	△769	1,684
四半期包括利益	2,915	4,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,850	4,253
非支配株主に係る四半期包括利益	65	79

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,547	4,160
減価償却費	1,372	1,579
のれん償却額	320	327
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△172	8
受取利息及び受取配当金	△119	△133
支払利息	62	60
持分法による投資損益(△は益)	△95	△166
有形固定資産除売却損益(△は益)	0	22
売上債権の増減額(△は増加)	1,507	6,068
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,633	△10,146
仕入債務の増減額(△は減少)	2,871	3,605
その他	△783	△1,982
小計	2,877	3,403
利息及び配当金の受取額	121	136
利息の支払額	△47	△45
法人税等の支払額	△2,454	△3,448
営業活動によるキャッシュ・フロー	496	45
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,101	△1,840
有形固定資産の売却による収入	17	3
無形固定資産の取得による支出	△265	△114
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 に対する前期末払分の支払による支出	△631	—
貸付けによる支出	△61	△132
貸付金の回収による収入	12	33
その他	△77	92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,108	△1,958
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,233	2,935
長期借入れによる収入	9,714	—
長期借入金の返済による支出	△427	△427
配当金の支払額	△990	△1,294
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△18	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,041	1,202
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	372	△704
現金及び現金同等物の期首残高	7,771	7,886
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,143	7,181

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
外部顧客への売上高	30,409	12,181	2,933	7,293	52,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	142	225	1	177	546
計	30,551	12,406	2,934	7,470	53,363
セグメント利益	3,685	716	27	811	5,241

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,241
セグメント間取引消去	5
棚卸資産の調整額	△18
四半期連結損益計算書の営業利益	5,227

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
外部顧客への売上高	28,637	12,020	2,438	7,161	50,257
セグメント間の内部売上高又は振替高	224	222	1	110	559
計	28,861	12,243	2,439	7,272	50,816
セグメント利益	2,792	523	43	346	3,706

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,706
セグメント間取引消去	6
棚卸資産の調整額	14
四半期連結損益計算書の営業利益	3,727

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 1 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	28,301	△6.3
防災	12,994	+6.8
産業機械	2,944	+2.2
環境車輛	7,475	△2.9
合計	51,716	△2.3

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は、販売価格で表示しております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	41,982	△2.1	26,788	+1.2
防災	8,151	+57.7	6,472	+127.2
産業機械	2,989	△18.8	2,506	+4.8
環境車輛	7,285	△12.6	4,366	+0.2
合計	60,408	+0.6	40,133	+11.3

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は、販売価格で表示しております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 4 防災事業の防災機器部門は見込生産を行っているため、上記の実績には含まれておりません。

## 3 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	28,637	△5.8
防災	12,020	△1.3
産業機械	2,438	△16.9
環境車輛	7,161	△1.8
合計	50,257	△4.8

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。